

## 土木工学・建築学委員会分科会の設置について

### 分科会等名：インフラレジリエンス分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	土木工学・建築学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>気候変動、人口の減少や、技術の急激な進歩、これに伴う産業構造や地域の将来の不確実性が今ほど高まっている時代はない。このことは、前提となる条件の不確実性を意味すると同時に、災害などの突発的な事象に加えて、長期的に継続するリスクへのインフラのレジリエンスの重要性が増してきていることを意味する。不確実な将来をどのように選択していくのか、そのためには意思決定の場には市民の参加が不可欠で、多様な主体の社会的包摂の問題も重要な論点となる。</p> <p>本分科会では、このような認識のもとで、不確実社会における社会的包摂に関わる問題を整理し、それを前提としたインフラレジリエンスのあり方を再定義する。分科会での議論を通じて現在までの成果を取りまとめ、科学的証拠としてそれを社会に還元することを目指す。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. インフラをめぐる不確実性とその対処法</li> <li>2. インフラレジリエンスの(再)定義</li> <li>3. インフラレジリエンスに関わる科学技術的課題</li> <li>4. 市民参加や社会的包摂の方法など制度・方法論に係る審議に関すること</li> </ol>
5	設置期間	令和5年11月27日～令和8年9月30日
6	備考	「気候変動と国土の未来分科会」、「複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会」と重複する検討項目に関するヒアリング・検討協議は共同で実施する予定である。